

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		対象者数5人/回答者数5人		回答者数100%
児童発達支援 ステラスカイ		令和7年3月28日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	事前にミーティング等で打ち合わせを行い、効率的かつ効果的な活動を検討しています	今後もスペースの有効活用を心掛けます	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	利用児に応じて配置人数の調整を行っています	法令上の基準は満たしているため、今後もスタッフのスキルアップに努めます	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	廊下やテーブルには緩衝材をつけ、衝撃した際のケガ防止に努めます 空間はガムテープで区切り視覚的に分かりやすくしています	子どもたちが分かりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮をします	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の室内清掃、車内清掃・エアコンの清掃をしています	引き続き環境設備に努めます	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	プログラム内容やお子さまの状況に合わせ、適宜部屋を分けて使って活動しています	引き続き環境設備に努めます	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	プログラム前に打ち合わせ時、朝のミーティング時にスタッフ間でお子さまの情報を共有しています スタッフ全員で協議をする時間を設けています	引き続き、より良い支援ができるように努めます	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	集計した評価はスタッフ間で共有します 結果はホームページや外部のサイトに公開しているのと、事業所内に掲示をしています	スタッフ全体で保護者のニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めます	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	お子さまの対応に対して共有し、意見を出し 話す場を設け、支援のすり合わせをします	引き続き、よりよい支援ができるように努めます	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	現時点では、第三者評価は実施していません	必要に応じて実施を検討いたします	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	虐待防止・防災・感染症対策等の法令に定められた研修に加え、療育研修を年間スケジュールに組み込み実施しています	社内研修や社外研修に積極的に参加し学ぶ機会を増やします	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援計画に基づき、プログラムを作成・実施し、保護者へのフィードバックを行っています	引き続き、よりよい支援ができるように努めます	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントシートを使い、お子さまやご家庭の課題やニーズ、強みを十分に考慮しながら、作成しています	引き続き、よりよい支援ができるように努めます	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	モニタリング会議の実施時に全スタッフと協議しながら作成します	引き続き、よりよい支援ができるように努めます	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援計画に、基づいたプログラムを提供しています	引き続き、よりよい支援ができるように努めます	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	アセスメントシートを使用しています	引き続き、よりよい支援ができるように努めます	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	作成時にスタッフで協議を行い、適切な内容となるよう留意しながら作成しています	引き続き、よりよい支援ができるように努めます	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	朝のミーティングや、支援前にその都度立案や確認をしています	引き続き、スタッフ間で意見交換をしながら、プログラムを立案できるように努めます	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	前回の内容なども振り返りながら、飽きないように楽しく取り組めるように工夫をしています	固定化が必要な内容については意図的に行ない、お子さまが楽しく活動できるように工夫していくよう努めます	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	お子さまやご家庭の課題やニーズ、強みを十分に考慮しながら、作成を行っています	今後もご家庭のニーズを考慮し、必要に応じて適宜集団活動できるように提案し、計画に沿った支援ができるように取り組んでいけるように努めます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝のミーティングや、支援前に確認をしています	今後も綿密なミーティングを行い、支援に活かしていきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	業務日誌の活用、朝のミーティング、支援前に繰り返し共有しています	今後も綿密なミーティングを行い、支援に活かしていきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	サービス提供記録や業務日誌等で記録をとり、支援の改善に繋げます 保護者からの要望を共有・変更を行っています	適宜に記録の記入方法を確認できるように努めます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に一度、必要に応じて適宜にモニタリングを実施しスタッフ間で協議をしている	より広くスタッフが参画できるよう事前に計画を立て、モニタリングを実施しています
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理センターを中心として参画しています 必要に応じてスタッフも参画できるようにしています	引き続き、内容は事業所内で共有していきます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	5	必要に応じて、相談支援事業所や他事業所、通園先と連携をとっています	引き続き、内容は事業所内で共有していきます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5	保護者の要望に応じて適宜に連携を図っています	より積極的に連携を図ります
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	保護者の要望に応じて適宜に連携を図っています	より積極的に連携を図ります
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	現時点では交流の機会を設けていません	ニーズが少ないため実施していませんが、今後必要に応じて検討します
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	フィードバックの時間にご家庭でのご様子やプログラムでの様子を共有しています	密にコミュニケーションが取れるように、引き続き努めます
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	プログラムとしての実施はありません 保護者から希望がある際には個別に対応します	ペアレントトレーニングとしてのプログラムの支援は行っていないが、定期的な面談や保護者からの相談に応じています
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時・毎月の配付物にて説明をしていました	今後も丁寧な説明に努めます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	作成時・更新時に面談を実施しています	今後も要望や意向の確認をしながら作成していきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	保護者との面談を実施し、丁寧な説明に心がけます	今後も丁寧な説明に努めます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	支援後のフィードバック時や支援計画更新時の面談時に、機会を設けています	保護者との信頼関係の構築ができるように努めます

39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	今年度は保護者会の実施はありませんでした	今後は必要に応じて実施を検討いたします
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	面接や送迎時、申し入れ時にヒアリングができるように機会を設けます	相談や申し入れ時には迅速かつ適切な対応に努めます
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	外部のサイトの掲載や連絡帳、配付物にて発信しています	今後も情報が記載発信の充実と周知に努めます
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報に記載されているものは鍵がかかる場所に施錠して対応しています 第三者に個人情報が洩れないように、細心の注意で管理します	今後も個人情報に記載された書類の取扱いや、送迎時の保護者との距離などに十分に留意します
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	それぞれのお子さまに適している方法について検討し、合理的配慮を考えながら柔軟な対応を努めます	引き続き、よりよい支援ができるように努めます
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	現時点、事業所の行事事に地域住民を招待する機会はありませんでした	地域に開かれた事業所運営ができるよう努めていきます
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルは活動室に備えています また、避難訓練に加え、感染症や防犯などもスタッフ間でシミュレーション訓練を行っています	訓練等の実施と内容の周知を引き続き行います
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に備品や対応方針について点検を行うとともに、年間スケジュールに沿って訓練を実施します	訓練等の実施と内容の周知を引き続き行っています
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2	毎年フェイスシートを再提出していただき、確認しスタッフ間で周知する	定期的な研修、該当児童の把握・対応の周知を図ります
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーの有無・内容についてはフェイスシートに記入の上、おやつ時に配慮し提供しています	おやつ・食育プログラム時には、アレルギーの有無を再確認し提供します
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を策定し、計画に沿って社内研修や訓練を行います	安全に留意し引き続き支援を行っていきます
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	熱中症の注意喚起・感染症などお知らせすべき事項がある際には、連絡帳やメール等で周知しております	外部の情報等を参考に周知を図ります
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	3	日々の打ち合わせの中で、共有・対応の検討を行っています ヒヤリハット報告書を作成しています	安全に留意し引き続き支援を行っていきます
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的に虐待防止研修を実施しています また、必要に応じて児童相談所・子ども家庭支援センターやその他の関係機関と連携を図っています	定期的に研修を行っています 該当者がいた場合は関係機関との連携を図るよう努めます
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約時の説明、必要な際にはご家庭と合意を得ているスタッフに対し、内容周知のため研修を行っています 今年度は該当者はいませんでした	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ステラスカイ			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○従業員評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月14日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに合わせた多様なプログラムを提供し、柔軟に対応できる 保護者とのコミュニケーションがとれており、お子さまのことについて相談し合っている	子ども連の日々の様子を観察し、スタッフ間で支援内容を共有して丁寧な支援を心掛けている	子ども達・保護者にとって「今」何を求めているのか、悩み事はなにかに耳を傾けてスタッフ間で話し合いをしています
2	事業所の活動プログラムが固定されないよう工夫している	スタッフ間で共有して活動に取り組めるように努めている	日々のお子さま様子にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラムを検討・実施していきます
3	お子さまが安心して、楽しく通所をしてくれている	日々、変化していくお子さまをスタッフ全員で支援することで、お子さまが落ち着いて過ごせるように工夫しながら、支援しています	これからのお子さまの成長に必要な療育、イベントを考えていきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対しての家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等も参加できる研修会の機会が行われていない	ご希望などがある際に個別で面談等は行っていますが、ペアレントトレーニングとしてのプログラムは実施していないため、情報提供などの機会が少なくなっています	引き続きご相談等の個別面談の実施を継続していきます 今後保護者会やペアレントトレーニングについて、開催できるように努めます
2	災害時の対応等の緊急時対応について、訓練は行っているが、保護者への情報が伝えてきてない	マニュアルを保護者に周知・説明する機会を設けていない 訓練の実施について見える化ができていない	定期的にマニュアルの見直し・改訂を継続していきたい 今後、救急要請、感染症対策等、スタッフ間で実施していることもたちの安全を守る取り組みについても、保護者と共有できるよう様々な形で発信していきたいです
3	専門職による支援	作業療法士、言語聴覚士、心理的支援など専門職による直接支援が望ましいが、現時点で確保することができていない	必要な人材確保ができるまでは、スタッフ間での研修を重ね専門性につながる支援に取り組みます